

教育委員会 6月定例会会議録（要旨）

招 集 月 日	平成28年6月10日（金）		
招 集 場 所	瀬戸蔵4階多目的ホール		
出 席 委 員	委員長 加藤 高明 委 員 松本 恵美子 委 員 佐野 嘉崇 教育長 深見 和博	委 員 梶田 俊裕 委 員 加藤 智子 委 員 林 みゆき	
欠 席 委 員	なし		
議案説明のため に出席した職員	教育部長 加藤 都志雄 学校教育課長 鈴木 勝広 学校教育課主幹 早川 寿 学校教育課主幹 阪本 有一 図書館長 鈴木 肇 交流学び課長 田口 浩一 交流学び課主幹 浅田 正巳 地域活動支援室長 井村 厚仁		
書 記	学校教育課課長補佐 河内 克友 学校教育課専門員 谷口 墨		
傍聴人數	1名		
開会時刻	午後2時00分		
閉会時刻	午後2時40分		

議 題	可否
1 報 告 (1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について (2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について (3) 平成28年4月請願書について (4) 小中学校適正規模適正配置について (5) 平成27年度地域交流センター利用実績について	
2 議 案 第14号議案 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について	可
3 その他の (1) 7月定例教育委員会等の日程について	

	<p>開会 午後 2 時 00 分</p> <p>委員長から傍聴者に対して注意事項の説明があった。</p> <p>5月定例教育委員会会議録（要旨）の承認を受けた。</p>
加藤高明 委員長	<p>1 報 告</p> <p>(1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について</p> <p>(2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について</p> <p>学校教育課長から、審査結果報告書に基づき、「藻谷浩介講演会」をはじめ 8 件について、催物の審査結果報告がなされた。併せて、実績報告書をもとに、「第 23 回瀬戸新人演奏会」をはじめ 7 件について、催物の実績報告がなされた。</p>
学校 教育 課 長	実績報告書 5 「地域別県民文化大祭典 2014」は、遅れて報告があったということか。
佐野嘉崇 委員	これまでも報告書の提出を求めていたが、結果的にこの時期になってしまったものである。
学校 教育 課 長	審査結果報告書 7 「お料理コンテスト」の主催者・瀬戸市健康づくり食生活改善協議会は、市役所の組織上、どの課が担当しているのか。
	健康課が担当している。
加藤高明 委員長	<p>(3) 平成 28 年 4 月請願書について</p> <p>学校教育課長から、資料に基づき、「特定事業主行動計画」策定などの請願内容等についての説明がなされ、請願受理の報告を行った。また、次回の委員会で採否の決定をすることが説明された。</p>
教 育 部 長	<p>(4) 小中学校適正規模適正配置について</p> <p>学校教育課長から、資料に基づき、小中学校適正規模適正配置に関する考え方をはじめ、地元地区での説明会の状況などの説明がなされた。</p>
加藤高明 委員長	資料 2 頁にある赤枠「考慮すべき要因」については、どのように理解すれば良いのか。
	一口に公園といっても、すべて学校敷地として活用できる訳ではなく、都市公園区域内に大規模な公共建築物（例えば、南公園内における文化センターなど）が建っていたり、既存施設の移転が必要になったりする候補地は除外する、という旨が記載してある。
加藤高明 委員長	本資料は、地元説明会開催時における市としての考え方だと理解しているが、現時点の市民との合意形成などの状況はどのようにになっているのか。

学校教育課長	5月上旬に新しいPTA役員に説明会を実施し、そこでの意見を踏まえて、6月から地元地区5か所での説明会を実施しているところである。今後は、市民のみなさまからいただいた事業の進め方などについても充分配慮しながら、慎重に検討していきたいと考えている。
佐野嘉崇委員	施設寿命については、5年スパンでみると、效範小、水野小、幡山西小、長根小などが寿命を迎えることになる。これらの学校についても、どのようにしていくのが良いかなどを考慮しながら、今回のモデル地区での小中学校適正規模適正配置を進めていく必要である。
松本恵美子委員	説明会での対象者はどのような方なのか。また、参加の呼びかけに遗漏なく、実施できているのか。実際に、これまでの説明会の参加者数は何人ぐらいだったのか。
学校教育課長	基本的には、地元地区での回覧板でお知らせしている。また、各学校や保育園の保護者には個別に案内している。今後は、関係するみなとの情報共有のあり方も含めて、整理していきたいと考えている。説明会の参加者数については、各会場80人前後となっており、幅広い年齢層の方にお集まりいただいている。そのため、様々な角度からの意見をお聞きしている。
加藤高明委員長	具体的には、どのような意見が出ているのか。
学校教育課長	若い方からは、「すぐに実施してほしい」「いつごろ開校するのか」などのご意見をいただいている。また、「開校までに、今すぐにやれることをしっかりとやってほしい」などの意見もあり、新しい学校を開校させるのはもちろんのこと、そこに至るまでのプロセスも丁寧に取り組んでいきたいと考えている。
加藤高明委員長	開校までには時間がある程度かかるので、その間も、今、学校に通っている子どもたちなどに対して、何ができるのかも併せて検討していただきたい。
(5) 平成27年度地域交流センター利用実績について	
地域活動支援室長から、資料に基づき、平成27年度地域交流センター（西陵、品野台、道泉）の利用実績についての報告がなされた。	
加藤智子委員	品野台地域交流センターの名称は、「ぬくもり（ぬくも里）」で良いのか。また、サークル等の減免が西陵地域では0人だが、道泉地域は、5,226人となっている。営利団体・個人についても、各センターで数字に大きな差異がある。この点について、お聞かせいただきたい。
地域活動支援室長	「ぬくもり」という呼び方である。また、サークル等の減免については、センターを応援する地域力団体でそれぞれ決めていただいているところである。西陵については、昨年度から、サークルの減免団体をなくしたため、減免は0人となっている。また、営利団体・個人については、この数字が実績値であり、それぞれのセンターで考え方や捉え方がそれぞれ異なるものではない。
加藤智子委員	西陵地域は、これから減免団体がない、という理解で良いか。
地域活動支援室長	そのとおりである。

林みゆき委員	交流センターの利用者は、高齢者の割合が多いのか。
地域活動支援室長	昨年12月に利用者アンケートを実施した。その結果、60歳代の利用者の割合が最も多かった。品野台地域交流センターについては、70歳代の利用者が最も多かった。
佐野嘉崇委員	有料利用者数の増加に伴い、運営者側の収入も増加しているのか。
地域活動支援室長	利用者数の増加に伴い、収入も増加している。センターの活性化や、利用者に還元できるような施設メンテナンスや活動事業などに活用していくことになる。
佐野嘉崇委員	前年比ではどのくらいの伸びがあるのか。
地域活動支援室長	改めて報告させていただく。
加藤高明委員長	有料使用者の件も含め、指定管理者側の収入になろうかと思う。サークル等の減免が0人ということであれば、注意書きにその旨を記載していただきたい。また、数字だけを記載するのではなく、例えば、生涯学習に係る「ふれあいフリーサロン」など特徴のある主な活動内容を整理してあると、利用団体のイメージなどが把握できるように感じる。今後、ご検討いただきたい。
2 議 案	
第14号議案 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について を上程。図書館長から、資料に基づき、瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命についての説明がなされた。	
加藤高明委員長	前任の方が変わられたため、今回、任命することとなったのか。
図書館長	今回、愛知県私立幼稚園連盟旭・瀬戸支部の方に変更があったため、新たに任命することになったものである。
佐野嘉崇委員	この運営委員で、実際に会議などを行うのか。
図書館長	この委員による会議を年に2回、開催している。
加藤高明委員長	ご意見、ご質問はございませんか。ないようであれば採決を行います。
	原案どおり可決することに賛成の方は挙手をお願いします。
	異議なし。(全員挙手)
<審議の結果、原案どおり承認する>	
3 そ の 他	
学校教育課長から、平成28年7月定例教育委員会日程表について、説明がなされた。	

閉会 午後 2 時 40 分

委員長

加藤高明

教育長

深見和博

瀬戸市教育委員会告示第7号

瀬戸市教育委員会6月定例会を次のとおり招集する。

平成28年6月3日

瀬戸市教育委員会

委員長 加藤高明

1 日 時 平成28年6月10日（金）午後2時

2 場 所 瀬戸蔵4階多目的ホール

3 付議事件

議案

（1）瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について

瀬戸市教育委員会 6月定例会

1 報 告

- (1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について 別添資料1 (学校教育課長)
- (2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について (学校教育課長)
- (3) 平成28年4月請願書について (学校教育課長)
- (4) 小中学校適正規模適正配置について 別添資料2 (学校教育課長)
- (5) 平成27年度地域交流センター利用実績について (地域活動支援室長)

2 議 案

第14号議案 瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について (図書館長)

3 そ の 他

催物の後援・推薦に係る審査結果報告書

NO	申請受付年月日	主催者 (申請者)	催物名	会場・開催期間等	申請区分	入場料等	許可年月日 (整理番号)
1	平成28年5月6日	藤谷浩介講演会実行委員会実行委員長 加藤 博昭(瀬戸市)	藤谷浩介講演会	瀬戸市 つばきホール 平成28年7月24日(日)	瀬戸市の人団旗のデータを基に、わが町におけるこれかちらの課題を共有するための講演会を開催し、未来に向けて自らアクションを起こす自立的な市民の連帯を目指す。	後援	入場料 1,000円 平成28年5月10日許可(28-348-11)
2	平成28年5月6日	日本ボイスカウト愛知連盟瀬戸第1団 井上 文義(瀬戸市)	親子サバイバル体験 in 嶺山 河川敷	Aコープ幡山店前河川敷 平成28年5月29日(日)	親子で野外活動をベースにした体験をし、野外活動の楽しさ、学ぶことの大切さを知ってもらう。(火おこし体験、ロープワーク、ゴム鉄砲工作等)	後援	参加料 無料 平成28年5月10日許可(28-354-12)
3	平成28年5月6日	愛知県立大学人間発達学研究科 教員研修 望月 彰(長久手市)	愛知県立大学スクールソーシャルワーク教員研修	愛知県立大学長久手キャンパス 平成28年8月8日(月) ~10月22日(土)	子どもの抱えている問題に対応する教育実践及び学級・学校経営の力量を高めるため、愛知県立大学教員を中心とした講師陣として、研修事業を含む共同研究活動を実施する。	後援	参加料 無料 平成28年5月10日許可(28-384-13)
4	平成28年5月9日	NHK名古屋放送局 局長 中野谷 公一(名古屋市)外3団体	第83回NHK全国学校音楽コンクール 愛知県コンクール尾張地区予選(小・中学校)、全県予選(高等学校)	瀬戸市文化センター 平成28年8月3日(水)、4日(木)	毎年夏、全都道府県各地で実施するコンクール。愛知県では、名古屋・三河・尾張の各地区で、小中高の3部門で地区予選を実施する。	後援	入場料 無料 平成28年5月11日許可(28-394-14)
5	平成28年5月11日	公益財団法人瀬戸市文化振興団 理事長 伊藤 保徳(瀬戸市)外1団体	2016文化体験講座	瀬戸市文化センター他 平成28年7月21日(木) ~8月31日(水)	瀬戸市文化協会会員が講師を務める、初心者を対象とした文化体験講座の開催。(全18講座)	後援	参加料 無料 平成28年5月16日許可(28-431-15)
6	平成28年5月13日	愛知県吹奏楽連盟(愛知県高等学校吹奏楽連盟東尾張支部)久田 雅彦(春日井市)外1団体	第28回愛知県吹奏楽コンクール(高等学校の部)東尾張地区大会	瀬戸市文化センター 平成28年7月24日(日)	東尾張支部の加盟校が、日ごろの練習の成果を発表し、当支部の代表校を決定するコンクール。	後援	入場料 前売 600円 当日 700円 参加料 500円/1人 平成28年5月18日許可(28-452-16)
7	平成28年5月18日	瀬戸市健康づくり食生活改善協議会 伊藤 光子(瀬戸市)	お料理コンテスト	瀬戸市近郊・やさらぎ会館(表彰式) 平成28年6月1日(水) ~11月22日(火)	知つて、使って、味わう 地産地消!をテーマに、地元産物を使用した料理コンテストの開催。	後援	参加料 無料 平成28年5月20日許可(28-487-17)
8	平成28年5月25日	日本福祉大学 濑戸・尾張胆・長久手地域同窓会 会長 江尻 忠之(瀬戸市)	文化講演会	パルティせと 平成28年10月23日(日)	認知症の人と家族の会 愛知支部より講師を迎えて、「認知症に社会や家族はどう向き合るべきか」をテーマにした講演会を開催。	後援	入場料 無料 平成28年5月30日許可(28-561-18)

催物の後援・推薦に係る実績報告書

No	報告受付年月日	報告区分	主催者 (申請者)	催物名	会場・開催期間等	催物の実績等	後援・推薦の効果等
1	平成28年5月6日(27-2835-71)	後援	瀬戸音楽協会 伊藤 定一	第23回瀬戸新人演奏会	瀬戸蔵 平成28年3月20日(日)	参加人員 34人 入場人員 270人	広く市民の皆様に知っていただけがようになり、瀬戸市で行った他の音楽コンクールの入賞者も多く参加され、素晴らしい演奏を披露していただけた。
2	平成28年5月6日(27-2836-72)	後援	瀬戸児童合唱団 伊藤 定一	瀬戸児童合唱団第28回定期演奏会	瀬戸市文化センター 平成28年3月27日(日)	参加人員 150人 入場人員 450人	尾張旭児童合唱団や瀬戸あいのクラブの皆さんに、賛助演奏で出演していただきことができた。また、広く市民の皆様に知っていただき、多くの来場者に入場していただいた。
3	平成28年5月13日(27-1471-37)	後援	地域別県民文化大祭典 2015 中央実行委員会 実行委員長 懇田 正行	地域別県民文化大祭典 2015 平成27年10月3日(土) ~11月29日(日)	南山大学瀬戸キャンパスほか 県下38会場 平成27年10月3日(土) ~11月29日(日)	入場人員 約70,000人 (延人数)	愛知県や愛知県教育委員会を始め、県下の全市町村と全市町村教育委員会の後援をいただき、大変大勢の方に参加、入場いただき、東日本大震災の支援企画を始め、多彩な企画で皆さんに喜んでいたところができた。
4	平成28年5月17日(27-3267-81)	後援	ラボ教育センター 巣山 万紀子	ラボ こども広場 2016	尾張旭市東部市民センター 平成28年5月15日(日)	参加人員 75人 入場人員 約100人	後援により、小学校などでチラシを配布していただき、多數の子どもたちに参加していただくことができた。また、運営・進行を子どもたちが自ら考え行うことにより、ゲームなどを通して、異年齢での交流や、様々な経験を増すことができた。
5	平成28年5月23日(26-1453-49)	後援	地域別県民文化大祭典 2014 中央実行委員会 実行委員長 懇田 正行	地域別県民文化大祭典 2014 平成26年9月27日(土) ~11月30日(日)	南山大学瀬戸キャンパスほか 県下38会場 平成26年9月27日(土) ~11月30日(日)	入場人員 約70,000人 (延人数)	愛知県や愛知県教育委員会を始め、県下の全市町村と全市町村教育委員会の後援をいただき、大変大勢の方に参加、入場いただき、東日本大震災の支援企画を始め、多彩な企画で皆さんに喜んでいたところができた。
6	平成28年5月27日(27-2655-70)	後援	特定非営利活動法人えとせど ら 代表 川地 正男	「みんなの学校」上映会とバネット ーク	瀬戸蔵 平成28年5月15日(日)	参加人員 397人	後援により、小学校などでチラシを配布していただき、大変大勢の方に参加していただくことができた。また、バネットークには市長や市教委の先生などにも参加していただきました。
7	平成28年5月27日(27-3050-75)	後援	瀬戸市団体連盟 会長 森下 整	第26回瀬戸市民団まつり	瀬戸市文化センター 平成28年5月22日(日)	参加人員 66人 入場人員 75人	後援により、催事への理解が高まり、団体愛好家多数の方に参加いただき、盛大に開催することができた。

平成28年4月提出請願書について

No	提出年月日	請願内容	担当部署	備考
1	平成28年4月19日	<p>1. 濑戸市立小中学校、特別支援学校の教職員に係る『特定事業主行動計画』(次世代育成支援対策推進法に規定)を早急に策定すること。</p> <p>2. 右『特定事業主行動計画』の策定を怠つたこと、「実施状況報告書」の公表を怠つて、同法19条に規定されたこと。</p> <p>3. 10年間の長きにわたり、教育委員会としての見解を市民に公表すること。</p>	学校教育課	・『特定事業主行動計画』は現在作成中

平成27年度 地域交流センター利用実績

西陵地域交流センター(ふれあいかん)

(人)

サークル等 (有料)	営利団体・ 個人	サークル等 (減免)	地域力関係	地域団体	官公庁	その他	合計
35,357	5,518	0	1,589	15,638	1,011	374	59,487
(平成26年度)							57,548

品野台地域交流センター(ぬくも里)

(人)

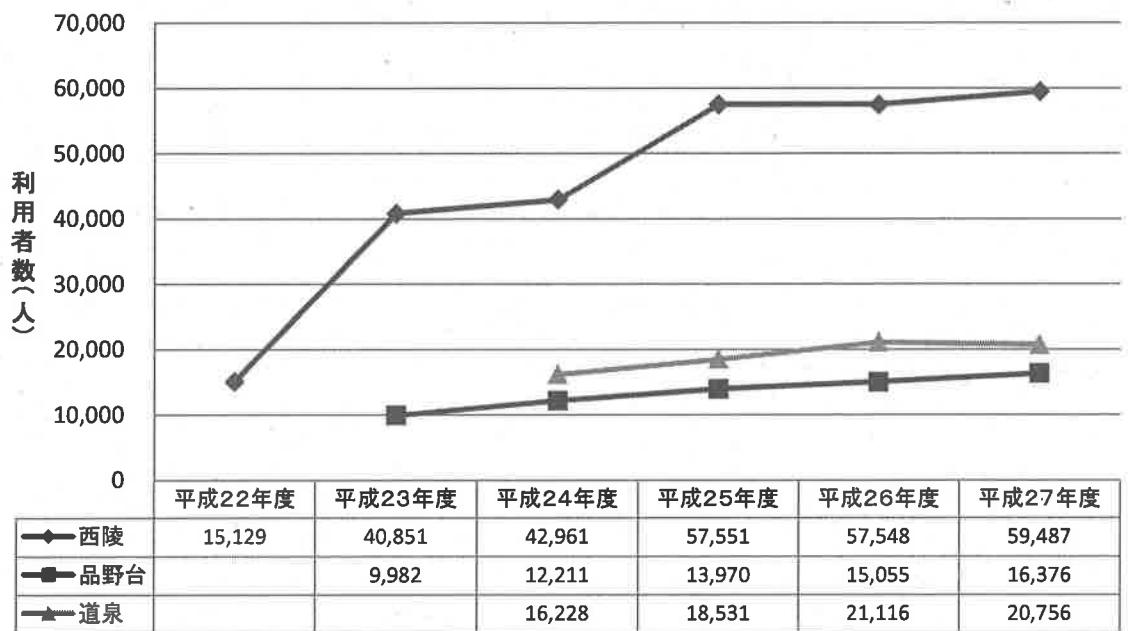
サークル等 (有料)	営利団体・ 個人	サークル等 (減免)	地域力関係	地域団体	官公庁	その他	合計
6,795	3,088	669	2,483	438	258	2,645	16,376
(平成26年度)							15,055

道泉地域交流センター(ぐるつpe道泉)

(人)

サークル等 (有料)	営利団体・ 個人	サークル等 (減免)	地域力関係	地域団体	官公庁	その他	合計
10,203	0	5,226	2,029	2,017	1,281	0	20,756
(平成26年度)							21,116

地域交流センター利用者数



(人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
合計	15,129	50,833	71,400	90,052	93,719	96,619

28年第14号議案

瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員の任命について

瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員会規則（昭和49年教育委員会規則第7号）第4条の規定に基づき、平成28年度瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員として、次の者を任命する。

平成28年6月10日提出

瀬戸市教育委員会
委員長 加藤 高明

1 委員名

別紙名簿のとおり

2 任期

平成28年7月1日から平成29年6月30日まで

(理由)

この案を提出するのは、瀬戸市立視聴覚ライブラリー運営委員を任命するに当たり、教育委員会の議決を求めるため必要があるからである。

平成28年度 濑戸市立視聴覚ライブラリー運営委員名簿(案)

(任期:平成28年7月1日より平成29年6月30日まで)

氏 名	所 属 団 体	公 職・そ の 他	住 所	備 考
カトウ 加藤 千美	愛知県私立幼稚園連盟 旭・瀬戸支部	雪の聖母幼稚園 園長		新任

【参考資料】

平成28年度 濑戸市立視聴覚ライブラリー運営委員名簿(案)

(任期:平成27年7月1日より平成29年6月30日まで)

氏名	所属団体	公職・その他	住所	備考
クリハラ ユキヒロ 栗原 幸宏	瀬戸市小中学校長会	視聴覚担当 祖母懐小学校校長		再任
スギウラ テツオ 杉浦 哲男	瀬戸市小中学校視聴覚 教育研究会	副会長 祖東中学校教頭		再任
ヤマノ ケイコ 矢野 桂子	瀬戸市公民館協議会	副会長		再任
コハラ ジイジ 小原 精司	瀬戸市公民館協議会			再任
ヤマグチ シズヨ 山口 志津代	瀬戸市地域婦人団体 連絡協議会	会計監査		再任
フジタ カツミ 藤田 勝美	瀬戸市社会福祉協議会	運転手兼介助員		再任
ヨコイ イチ彦 横井 譲彦	瀬戸市子ども会連絡協 議会	会長		再任
カトウ カツミ 加藤 千美	愛知県私立幼稚園連盟 旭・瀬戸支部	理事 雪の聖母幼稚園 園長		新任
サトウ タクヤ 佐藤 拓哉	瀬戸市消防本部	消防課 予防グループ主幹		再任
ハシグチ ヨシコ 橋口 良子	瀬戸市保育施設代表者	水南保育園 園長		再任

平成28年7月 定例教育委員会日程表

月・日	曜日	件名
7・1	金	
2	(土)	
3	(日)	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	愛日地方教育事務協議会 午後2時00~ 濑戸市文化センター 委員長、委員長職務代理、教育長
8	金	愛知県市町村教育委員会連合会総会及び研修会 午後1時30分~ 蒲郡市民会館中ホール 全委員
9	(土)	
10	(日)	
11	月	定例会事前打合 午後1時30分~ 濑戸市立図書館 集会室 全委員 定例教育委員会 午後2時00分~ //
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	(土)	
17	(日)	
18	(月)	海の日
19	火	
20	水	1学期終業式
21	木	夏季休業(~8/31)
22	金	
23	(土)	
24	(日)	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	(土)	
31	(日)	

8月 4日 (木) 13:30~ 教育懇談会 パルティせと 4階 マルチメディアルーム
 8月 10日 (水) 13:30~ 定例会事前打ち合せ 文化センター 3階 32会議室
 14:00~ 定例教育委員会 //

藻谷浩介

MOTANI KOUSUKE

講演会



2016.7/24日 | 瀬戸蔵2階
つばきホール
瀬戸市蔵所町1番地の1
(名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅より徒歩5分)



市民がやらなきゃ、誰がやる

ほんとのせと、ご存知ですか?
私たちのまちを守るために、いまできること。

高齢化、人口減少、産業衰退、消滅可能性都市…

最近いろいろな言葉が飛び交っています。これって、本当ですか?

私たち市民にできることは、現状をきちんと理解し、

そこに向けて自らアクションを起こすことです。

瀬戸市の人口動態のデータをもとにした藻谷浩介さんの講演を聴き、
私たちのまち瀬戸市における「これからの課題」を共有しましょう。

入場料 1,000円

定員 350名

母子席もございます。
小さなお子様をお連れの方も
ぜひお越しください。

■チケット購入方法

パルティせと1階「ラジオサンキュー」にて販売。

TEL.0561-85-3555

または、実行委員会の加盟団体へお問い合わせください。

■お問い合わせ先

藻谷浩介講演会実行委員会 TEL.090-3552-9553(加藤)



講師 日本総合研究所
主席研究員 もたにこうすけ
藻谷浩介 氏

山口県生まれの51歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外72ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。講演回数5000回を超える、地域経済再生の第一人者。2012年より現職。近著にデフレの正体、第七回新書大賞を受賞した里山資本主義(共に角川Oneテーマ21)など。

ベストセラー『デフレの正体』
『里山資本主義』の著者!



会場へのアクセス



《実施体制》

《申込方法》

2016年度 愛知県立大学公開講座

愛知県立大学 スクールソーシャルワーク 教職員研修

《申込方法》
以下の要領で「参加申込書」（ホームページより入手）を作成し、専用メールアドレスに添付して申込期間内に送信してください。参加費は無料です。

◆「参加申込書」の記載事項

- ① 氏名（ふりがな）・性別・生年月日
- ② 勤務校（機関・職位・所在地）
- ③ 自宅住所・TEL/FAX
- ④ E-Mail アドレス
- ⑤ 作文「私の教育実践とスクールソーシャルワーク
教員研修への期待」

<運営委員>

- 望月 彰（運営委員長・教育福祉論）
宇都宮みのり（精神保健福祉論）
内田 純一（教育史学）
堀尾 良弘（臨床心理学）
村田 一昭（子ども家庭福祉論）
山本 理絵（教育方法論・保育援助論）
吉川 雅博（言語発達支援論）

- 平松 直巳（愛知県教育委員会教育長）
神田 正美（愛知県総合教育センター教育相談部部長）
吉橋 一典（日進市教育委員会教育長）
玉置 基（尾張旭市教育委員会教育長）
深見 和博（瀬戸市教育委員会教育長）
市野 光信（豊明市教育委員会教育長）
堀田まゆみ（長久手市教育委員会教育長）
石川 光秋（東郷町教育委員会教育長）

- <TA（ティーチングアシスタント）>
酒井多輝子（スクールソーシャルワーカー）
早川 真理（スクールソーシャルワーカー）
水野みち代（スクールソーシャルワーカー）

<ホームページ>

愛知県立大学人間発達学研究科オジナルサイト内
<http://www.ews.aichi-pu.ac.jp/ningen/sws/>

〒480-1198 愛知県・長久手市茨ヶ廻間 1522-3

愛知県立大学
人間発達学研究科
《連携・後援》

《問い合わせ先》

愛知県立大学
人間発達学研究科
《連携・後援》

《問い合わせ先》

長久手市教育委員会
日進市教育委員会
東郷町教育委員会

愛知県立大学
人間発達学研究科

《実施日》

- ・第1回 — 8月8日（月）
午後1時～5時
- ・第2回 — 8月22日（月）
午前9時～午後5時
- ・第3回 — 10月22日（土）
午後1時～5時

- ◆作文（上の⑤）について
「参加申込書」の所定の箇所に800字程度で記入してください。
子どもたちがかかえている様々な困難にたいして、あなたが現在取り組んでいること、取り組もうとしていること、取り組んでうまくいったり失敗したこと、本研修参加への抱負、学びたいことなどについてまとめてください。
- ◆専用メールアドレス：ningen-h@bur.aichi-pu.ac.jp
- ◆申込期間：6月1日（水）～6月20日（月）

◆選考結果の通知：申込者が多数の場合には、書類審査のうえ、学校種、地域等を考慮して参加者を決定します。
選考結果は7月8日（金）午後5時までにE-Mailにて通知します。

《問い合わせ先》

長久手市教育委員会
日進市教育委員会
東郷町教育委員会

愛知県立大学
人間発達学研究科
《連携・後援》

《問い合わせ先》

長久手市教育委員会
日進市教育委員会
東郷町教育委員会

《目的》

《参加者対象者》

近年学校現場では、いじめ、不登校、非行などの問題への対応に苦慮するとともに、特別支援教育や子どもの貧困問題への対応等に新たな展開が求められています。その状況に対して、スクールソーシャルワークの視点や方法の有効性が確かめられつつあります。本講座では、教員等学校関係者がスクールソーシャルワークについて学び、問題解決の力量を高めることを目指します。また、学校現場へのスクールソーシャルワーカー導入が進みつつある中で、その業務を理解できる教職員を増やし、学校を中心とする協働体制づくりを目指します。

- ①学校教育現場において、困難を抱える子どもへの支援や保護者との信頼関係づくりに取り組んでいる教職員。
 - ②市長村教育委員会のもとで、教職員と連携しつつ困難を抱える子どもや家庭の支援にあたっている相談員、スクールソーシャルワーカーなど。
 - ③ソーシャルワークについて理解を深め、自らの専門職能を高めると共に、スクールソーシャルワーカーの導入を図りたいと思っている教育行政関係職員。
- * 定員 20 名 * 参加費無料

《特徴》

ウェルピービングの概念は元々社会福祉の概念ですが、現代日本の学校教育においても強く求められています。本研修は、子どものウェルピービング実現をめざすものであり、さらに、下記の特徴を持つ研修です。

- ①社会福祉学の専門家による講義をベースに、ソーシャルワークの視点と技法の習得に焦点をあてた研修。
- ②参加者が直面しているケースをはじめ具体的な事例を検討して、問題解決の見通しを習得できる研修。
- ③3回の研修を通して、講師陣との双方の関係や参加者同士の連携を深めることのできる研修。

日程	講義演習題目	概要
<第1回> 8月8日(月) 午後1時～5時 多目的ホール	* 講義(1) ソーシャルワークの視点と価値観 * 講義(2) ソーシャルワークの方法－アセスメント * 演習(1) アセスメントに関するモデル演習	子どもと教育をめぐる基本問題に対して、社会福祉学、特にソーシャルワークの視点を提起すると共に参加者の問題意識の共有化を図る。問題発見とアセスメントに関するソーシャルワークの方法を学ぶ。
<第2回> 8月22日(月) 午前10時～12時 午後1時～5時 B棟 107 教室	* 講義(3) スクールソーシャルワーカーとは * 講義(4) スクールソーシャルワークの方法 － ケース会議 * 演習(2) 一 不登校／発達障がいに関する事例演習 * 講義(5) 不登校／発達障がいについての理論的整理	ソーシャルワークの原理に基づくケース会議の運営方法を学び、ケース会議を通して、ソーシャルワークとは何かについて基本的な理解を得ます。不登校および発達障がいの子どもの事例検討を通して理解を深めます。
<第3回> 10月22日(土) 午後1時～5時 多目的ホール	* 演習(3) 貧困問題／保護者対応に関する事例演習 * 講義(6) 貧困問題／保護者対応についての理論的整理 * 研修のまとめ	深刻化する子どもの貧困の問題について基本的な理解を深めると共に、事例を通してソーシャルワークによる支援のあり方を学ぶ。研修で学んだ成果をまとめ、今後の教職員実践に活かしていく見通し等について確信を得る。

NHK

全国学校音楽コンクール

参加のご案内



課題曲テーマ

**力
チカラ**

子どもたちがたくましく生きていくための「力」。
仲間と心をひとつにして歌うことで、
楽しく生きる「力」を身につけてほしい。
子どもたちの歌声が「力」となり、
明るい未来を切り開いていってほしい。
そんな願いを込めたテーマです。

コンクールの最新情報はホームページでご覧いただけます <http://www.nhk.or.jp/neon/>
ご参加いただくにあたっては、この「参加のご案内」と各都府県地区コンクールのご案内をあわせてお読みください。
お申し込みは、8・9ページの参加申込書をお使いください。

2016 文化体験講座

(案)

夏休み期間中に、瀬戸市文化協会会員が講師を務める初心者を対象とした文化体験講座を開講します。

長い夏休み、子どもさん達の新しい体験と楽しい思い出づくりのお手伝いをさせていただきます。

参加費無料の講座です。皆様のご参加をお待ちしています。

■会場 濑戸市文化センター文化交流館 他

■対象 初心者の学生(小学生~高校生)

※一部の講座で対象者が異なります。詳しくは裏面の各講座の内容をご確認ください。

■主催 公益財団法人瀬戸市文化振興財団／瀬戸市文化協会

■後援 濑戸市教育委員会

受講
無料

講 座

①描いて、作る、たった一つの和凧

③百人一首で楽しく遊ぼう

⑤津軽三味線

⑦大書に挑戦

⑨おれっち囲碁（いご）やってみるにゃん

⑪ハッピーマジック教室

⑬香りと押し花

⑯楽しくお茶を！

⑰クラシックバレエで、体と心の豊かさを！

②楽しく漢字を学ぼう－漢字の成り立ち－

④子供茶道教室

⑥おどってみましょう！日本のおどり

⑧お箏を少々

⑩楽しくフラを踊りましょう

⑫やさしい箏はじめ

⑭楽しく箏をひきましょう

⑯子供太鼓教室

⑰楽しい水彩画

詳しくは裏面を参照してください。 ⇒

受講申込方法

ハガキに「文化体験講座受講希望」と明記のうえ、必要事項(①希望講座、②住所、③参加者氏名、④電話番号、⑤学校名、⑥年齢・学年、⑦親子参加希望(ご希望に添えない講座もあります)の場合はその旨を記入して、下記までお送りください。インターネットで申込の方は、(公財)瀬戸市文化振興財団のホームページ(<http://www.seto-cul.jp/>)から、[INFORMATION]⇒[2016文化体験講座]をご覧ください。

QRコードを読み込むと、直接登録画面へ移動します。

スマホ用



携帯用



ハガキの記入方法

(表)

〒489-0884

瀬戸市西茨町 113-3

(公財)瀬戸市

文化振興財団 あて

(裏)

文化体験講座受講希望

①希望講座

②〒 住所

③参加者氏名

④電話番号

⑤学校名

⑥年齢・学年

⑦親子参加希望の場合はその旨

※後日、受講の諸否をご連絡いたします。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

※原則として、全日程参加可能な講座へお申し込みください。

※応募が少ない場合、講座が開講されない可能性があります。

●ハガキの送付先

〒489-0884 瀬戸市西茨町113-3

(公財)瀬戸市文化振興財団あて

●問い合わせ先

(公財)瀬戸市文化振興財団 TEL:0561-84-1093

申込締切
7/1(金)必着

《①描いて、作る、たつた一つの和凧》	《②楽しく漢字を学ぼう－漢字の成り立ちー》
日本の文化である和凧を作ります。和紙に武者絵や色々な絵を参考に、自分だけの絵を描き、竹組みをし、貼り込みをし、自分だけの和凧を作ります。 ・日程 7/21(木)、28(木)、8/4(木)、11(木・祝) 4回 ・時間 14:00~15:30 ・講師 濑戸日本画協会五蘷会 主宰 小沢英之 他 ・定員 30名 ・対象 年少児～小学6年生	「右と左はなぜ書き順がちがうの？」 漢字の成り立ちを知ればなっとく！漢字ってこんなに楽しいものなんだ！ ・日程 7/22(金)、29(金)、8/5(金) 3回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 書道研究飛墨会 伊藤一子、もえぎ会 土屋美幸 ・定員 15名 ・対象 小学1年生～小学6年生
《③百人一首で楽しく遊ぼう》	《④子供茶道教室》
百人一首に親しんで、かるたを取りをします。 古典に親しみながら、楽しくかるた取りをして、日本の文芸に親しんでいただきます。 ・日程 7/22(金)、29(金)、8/5(金)、10(水) 4回 ・時間 14:00~15:30 ・講師 文芸部会員 ・定員 20名 ・対象 小学1年生～中学3年生	伝統文化 おもてなしの心「茶道」にふれて、おいしい和菓子とお抹茶を楽しんでください。和室での立ち振る舞いも身につくといいですね。 ・日程 7/22(金)、29(金)、8/5(金)、19(金) 4回 ・時間 14:00~15:30 ・講師 萩千家 準教授 中澤宗鶴 ・定員 10名 ・対象 小学3年生～高校3年生
《⑤津軽三味線》	《⑥おどってみましょう！日本のおどり》
世界に類を見ない日本独自の楽器三味線を弾いてみませんか。体験を通して、新しい自分発見に挑戦してみてください。夏休みの思い出づくりにもなりますよ。 ・日程 7/23(土)、30(土)、8/20(土)、27(土) 4回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 津軽三味線夢絃塾 塾長 柴田佐夜子 ・定員 10名 ・対象 小学3年生～小学6年生	ゆかたを着て、古くから伝わっている日本のおどりをおどってみましょう。 あいさつ、ゆかたのたたみ方など、やさしい行儀作法も体験します。 ・日程 7/24(日)、31(日)、8/7(日)、21(日) 4回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 日本舞踊紫泉流 家元 紫泉紫水 ・定員 20名 ・対象 5歳～中学3年生
《⑦大書に挑戦》	《⑧お箏を少々》
大きな筆で、自分の身長より大きな和紙に、自分よりも大きい文字を紙いっぱいに書いてみよう。 ・日程 7/25(月)、8/1(月)、8(月) 3回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 (公財)独立書人団 参事 中島龍溪、書道部会員 ・定員 30名 ・対象 小学1年生～高校3年生	伝統楽器であるお箏をもつと身近なものにパルティセとのロビーでお箏を弾いて1年。あなたもご趣味は？と聞かれたとき、「お箏を少々」と言ってみませんか。 ・日程 7/25(月)、8/1(月)、8(月)、22(月)、29(月) 5回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 生田流筝曲坂本玉宏会 大師範 相良玉水 ・定員 10名 ・対象 小学4年生～中学3年生
《⑨おれっち囲碁(いご)やってみるにやん》	《⑩楽しくフラを踊りましょう》
囲碁(いご)は自分で考える力を養うゲームです。考えるトレーニングのほか、あいさつ(マナー)やなぞなぞなど幅広い体験を予定しています。 ・日程 7/25(月)、8/1(月)、8(月)、22(月)、29(月) 5回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 濑戸市囲碁連盟 大塚正俊 他 ・定員 32名 ・対象 4歳～小学6年生	フラダンスの基礎を学びながら、ハワイの音楽にあわせて踊りましょう。 ・日程 7/25(月)、8/8(月)、22(月)、29(月) 4回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 フイオ カマレイ カピキ 代表 伊藤真理 ・定員 20名 ・対象 小学1年生～高校3年生 ※ 親子参加も可
《⑪ハッピーマジック教室》	《⑫やさしい筝はじめ》
楽しいマジックが“いっぱい”さあ！マジシャンになってお友だちを“ビックリ”させちゃいましょう！ ・日程 7/26(火)、27(水)、8/1(月)、2(火) 4回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 スーパーグレートマジシャンズ会員 ・定員 15名 ・対象 小学1年生～高校3年生	お箏は触れるだけでやさしく響きます。4日間、毎日続けて少しづつ日本の四季の曲を弾いてみましょう。おかげにしながら礼儀作法の基本を身につけましょう。 ・日程 7/26(火)、27(水)、28(木)、29(金) 4回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 劇和会 会主 加藤創子 ・定員 10名 ・対象 小学1年生～中学3年生
《⑬香りと押し花》	《⑭楽しく箏をひきましょう》
身近な草花で押し花をつくり、自然と香りをラッピング。世界に一つのステキな壁掛けをつくりましょう。 ・日程 7/27(水)、8/3(水)、10(水)、17(水) 4回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 加藤弘子押し花教室 加藤弘子 ・定員 20名 ・対象 小学3年生～中学3年生	初めてでも、13本の糸からやさしい音色がひびきます。「きいたことがある」から「ひいたことがある」にしてみましょう。 ・日程 7/27(水)、8/3(水)、10(水)、17(水) 4回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 加藤泰子箏三絃教室 横山恭子 ・定員 10名 ・対象 小学1年生～中学3年生
《⑮楽しくお茶を！》	《⑯子供太鼓教室》
おもてなしの心で抹茶の点て方と飲み方を学びましょう。	日本の伝統文化和太鼓をたたいてみませんか？なかなかふれることができないですが、ちっともむずかしくありません。この機会にぜひたたいてみましょう！ ・日程 7/27(水)、29(金)、8/10(水)、17(水)、19(金) 5回 ・時間 10:00~11:30 ・講師 濑戸子供太鼓こまいぬ座 講師 石川一成 ・定員 30名 ・対象 年長児～小学6年生
《⑰クラシックバレエで、体と心の豊かさを！》	《⑱楽しい水彩画》
子ども達は踊ることが好き！バレエの基礎のストレッチからシンプルな踊りまで優しく指導します。日常の姿勢や美しいものへの関心を育むお手伝いをします。 ・日程 7/29(金)、8/16(火)、30(火) 3回 ・時間 10:00~11:30(ただし、7/29(金)のみ14:00~15:30) ・講師 伊藤理俊バレエスタジオ 主宰 伊藤理俊 ・定員 25名 ・対象 小学1年生～中学3年生	水彩絵具でピエロのお人形・お花・果物などを描きましょう。 ・日程 7/31(日)、8/1(月)、7(日)、8(月) 4回 ・時間 14:00~15:30 ・講師 日本水彩画会 理事 加藤 英 他 ・定員 20名 ・対象 小学3年生～中学3年生

お料理コンテスト

瀬戸市健康づくり食生活改善協議会設立20周年記念事業

知って、使って、味わう地産地消！！

募集要項

◆ テーマ：野菜を豊富に使って、ひと工夫クッキング

◆ 応募条件：瀬戸市近郊に在住、在学、在勤の方

◆ 材料費：4人分1,000円以内

◆ 締め切り：9月20日（火）必着

◆ 応募方法：レシピ・氏名・連絡先・年齢を記入後

FAX、メール、郵送のいずれかで応募

裏面の応募用紙をご利用ください

◆ 応募・問い合わせ先：

〒480-1211 瀬戸市上半田川町243-2

「お料理コンテスト」事務局宛

TEL/FAX 0561-41-1324（柴田）

メールアドレス cngjx329@yf6.so-net.ne.jp（服部）

- ❖ 書類選考後、実際に料理を作っていただく方には、詳細をこちらから連絡させていただきます。<実施日：10月29日（土）やすらぎ会館 予定>
試食後、入賞者を決定いたします。
- ❖ 入賞者は11月22日（火）の式典で表彰し、期間限定で道の駅瀬戸しなのレストランにてメニューとして取り上げていただきます。

主催 瀬戸市健康づくり食生活改善協議会

後援 瀬戸市 瀬戸市教育委員会 道の駅瀬戸しなの

助成 公益財団法人 せとしん地域振興協力基金

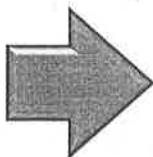
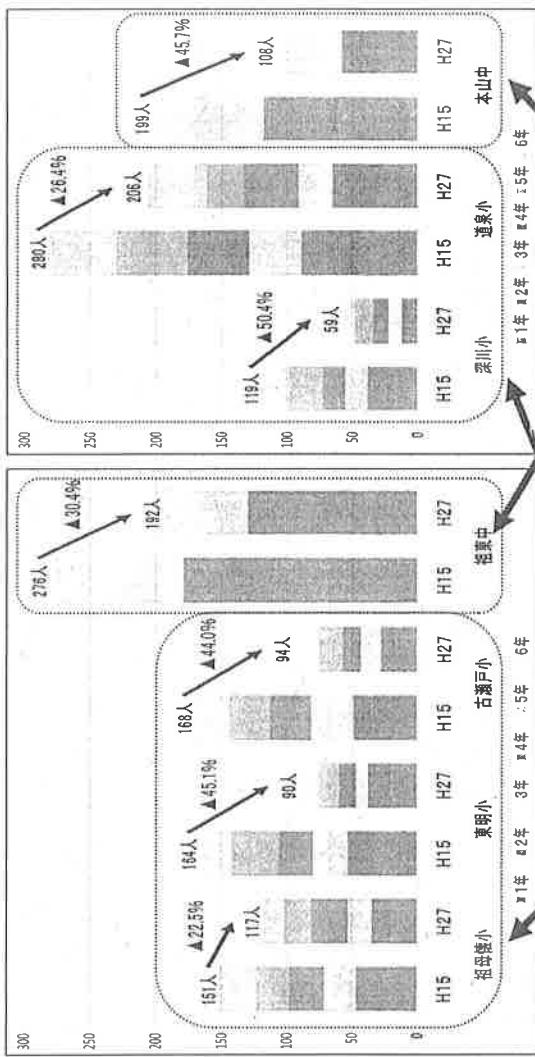
小中学校い適正規模・適正配置に関する考え方について

【子どもたちにとって望ましい学校を実現する小中学校の適正規模・適正配置を進めるうえでの基本原則】

- ◆ 小学校で6年間一度もクラス替えが出来なかつたり、中学校で部活動が成立しないといった、学校間の規模の格差を解消し、子どもたちが『より良好な教育を受けられる環境整備』を早期に実現することを目指します。
- ◆ 少子化による課題と共に、老朽化が進む一部の小中学校については、本市が最優先に取り組むべき緊急の課題であることから、モデル地区を定めて、小中学校の適正規模・適正配置の実現に向けて取り組みます。
- ◆ モデル地区以外の地区についても、適正規模・適正配置は、地理的な条件や物理的な条件により、市域全体の教育環境の改善を実現する方向を示します。
- ◆ 適正規模・適正配置を実現する手法の1つとして、新しい教育環境の創造を目標とした「小中一貫教育の場」の実現を目指します。

【現状の課題】

- ▷ 潟戸市における学校間の規模の格差は正と、子どもたちに取って望ましい学校像のあり方をテーマとした、「瀧戸市立小学校適正配置計画策定検討委員会」の答申を受け、平成14年7月に受け、平成15年3月に策定された「瀧戸市立小学校適正配置計画」は、具体的な進展をみないまま13年が経過しています。
- ▷ この間、祖東中学校区の祖母懐小学校、東明小学校、古瀬戸小学校と、本山中学校区の深川小学校、道泉小学校では、計画策定期よりも更に児童・生徒数の減少が進み、小学校で6年間一度もクラス替えが出来なかつたり、中学校で部活動が成立しないといった、「子どもたちの教育にとって望ましくない教育環境」への対策は、緊急の課題となっています。
- ▷ また、近年では、いじめの認知件数や不登校児童生徒数が中学校1年生になったときに大幅に増える実態等（中学校1年生段階の段差、いわゆる中1ギャップ）への対応策も必要であり、その解決策として、義務教育期間（小学校から中学校）の連続性を持つた教育環境の整備も、解決すべき課題となっています。
- ▷ 更に、瀧戸市の小中学校には、概ね50年といわれる施設の耐用年数が迫っている施設もあり、瀧戸市の未来を担う子どもたちに、安心・安全な環境を確保する必要があります。



- 児童・生徒数の減少による“子どもたちの教育の課題と、いわゆる中1ギャップや施設の老朽化への対応といった社会的な課題に対して、できる限り早く改善していく必要があります。

- 児童数の減少が進み、小学校で6年間一度もクラス替えが出来ない、今後も、大幅な増加は見込めないと予想される。

- 生徒数の減少により、中学校では、クラス替えが出来ない、望む部活動ができるない、専任教員が配置できないという状況が生じている。

小中学校の適正規模・適正配置のモデル地区選定に関する考え方について

【モデル地区の選定：適正規模の視点】

(1,000人規模を目標)

小学生：6学年×3学級＝18学級
中学校：3学年×3学級＝9学級

平成27年5月1日現在　児童・生徒数一覧

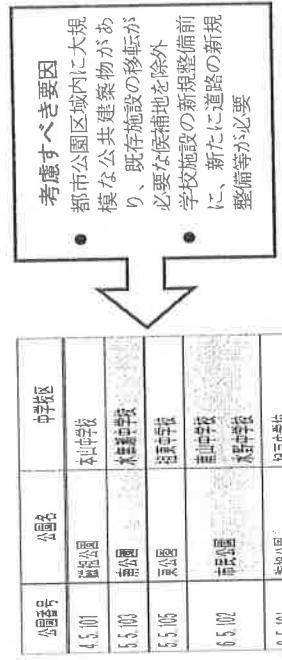
学年	生徒数(人)	標準数(人)	過密度	標準数(人)	過密度	標準数(人)	過密度	標準数(人)	過密度
小学校	35	30	1.17	35	30	1.17	35	30	1.17
本山小学校	35	30	1.17	35	30	1.17	35	30	1.17
古瀬戸小学校	35	30	1.17	35	30	1.17	35	30	1.17
東明小学校	35	30	1.17	35	30	1.17	35	30	1.17
中学校	35	30	1.17	35	30	1.17	35	30	1.17
本山中学校	35	30	1.17	35	30	1.17	35	30	1.17
古瀬戸中学校	35	30	1.17	35	30	1.17	35	30	1.17
東明中学校	35	30	1.17	35	30	1.17	35	30	1.17

【モデル地区の選定：施設寿命の視点】

学校施設の寿命を50年(R.C造の耐用年数)と仮定すると、今後10年以内に8割(23校/28校)の学校施設が寿命を迎えることになります。

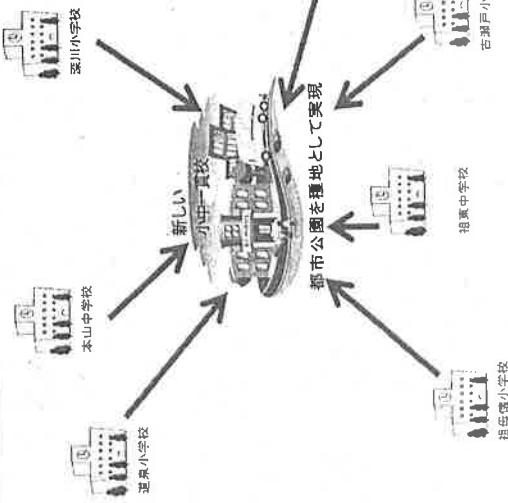
既設小学校の寿命グラフ

そこで、そうした阻害要因の解消策として、都市公園を新しい教育環境を創造する空間として活用することを提案します。



適正規模・適正配置を実現するモデル地区

東公園内に、既存の小中学校を統合して新たに小中一貫校を創設することで、未来を担うこれからの世代のための教育環境を整えることを目指します



- 子どもたちが、適正な規模の集団の中で切磋琢磨しながら学ぶことで、
- これからの中社会に一層必要となる「自ら考え、学び、生き抜く力を育みます。」
- 多様な学習活動や学校行事を展開することで、豊かな人間性を育みます。
- 豊かな人間性を育みます。
- 部活動の充実、学習以外の活動への自主的な参加を実現します。

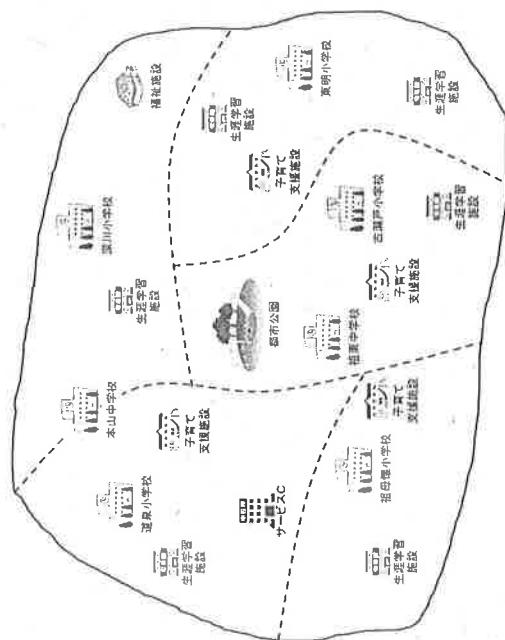
- 小中一貫教育による、魅力ある学校をつくることで、
- 9年間を見通し一貫した教育課程・教育指導により、子どもたちの学力・体力・情操を伸ばします。
 - 異学年交流や相互乗り入れ授業等を取り入れ、子どもたちの自己有用感や規範意識などの社会性を養います。
 - 小中校相互の教員が日常的に交流することで、新たな課題への対応力や指導力の向上を図ります。

モデル地区での既存の小中学校を「新しい地域コミュニティの拠点」へと進化させるまちづくりの提案について

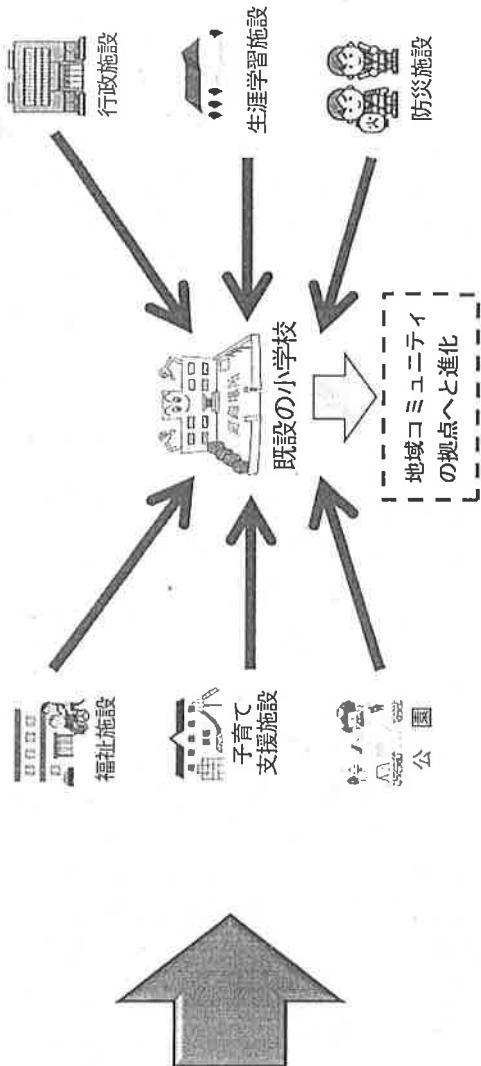
【既存の小中学校を活用した新たな拠点づくりを進めよううえでの基本原則】

- ◆ モデル地区における新しい教育環境の創造の実現によって、既存の小中学校は、未来を担う子どもたちの学習の場という役割を全うすることができます。
瀬戸市では、そうした既存の小中学校を、他都市の先進事例のように廃止や取り壊しするのではなく、地域の中心的な場所に位置しているという『地の利』を活かして、地域に点在している福祉施設、子育て支援施設、生涯学習施設、防災施設といった様々な機能を集約することで、新たにまちづくりの拠点として生まれ変わる未来志向型のまちづくりを提案し、市民の皆さんと議論を深めています。
- ◆ モデル地区においては、本市が掲げる『機能は減らさず、施設の総量を減らす』を与件として、瀬戸市の未来に必要な公共施設の方針を地域の皆さんと議論を深め、実際に移していく過程を通して、『成熟都市における社会的な課題解決の道しるべ』となる手法の確立を目指します。

これまでは……1機能1施設型



これからは……機能を減らさず複合型へ転換



新しいまちづくりを実現するための思考

- 将来の生活スタイルを市民の皆さんと共に共有し、全ての市民に対しても、良好な生活環境が提供できることを目指します。
- 先進的な取り組みにより早く実現することにより、市民の定住化と他地域からの転入を促進する取り組みを目指します。

これから取り組み



- 新しい地域コミュニティづくりを議論する中で、『新たなまちづくりの基準』を構築することを目指します。

関係者や市民の皆様との対話を通じて、モデル地区での既存の小中学校を「新しい地域コミュニティの拠点へと進化させます。

- 既成概念にとらわれず、あえて「難しい」、「できなかつた」とに挑戦し、社会的な課題を解決へと導く仕組みを構築します。